

さくら湖だより

発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所
〒963-7722
福島県田村郡三春町
大字西方字中ノ内403-4
TEL0247-62-3145



平成14年3月7日撮影

「ダムを見守る幸福の花」

三春ダム下流左岸法面。雪解けを待つて数百本の福寿草が今が盛りと咲いています。ダム建設にともないここに移植しましたが、移植後7年がたち、今では黄色小さな花たちが群生しています。ダムの安全を見守るかのように……。

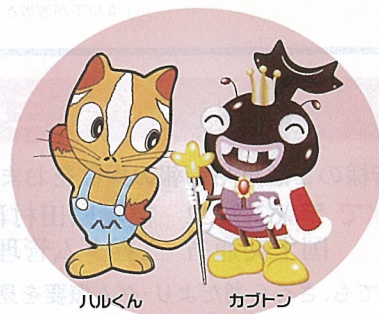
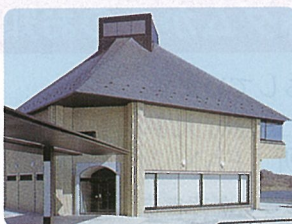
今月のお知らせ

常葉町展開催 —三春ダム資料館—

三春ダム資料館では、平成14年3月16日(土)から4月12日(金)まで、大滝根川流域にある常葉町の企画展を開催します。

カブトムシが幼虫から成虫になるまでの生態をじっくり観察できるカブトムシ自然観察園など自然体験スポットが満載の常葉町。パネルやビデオを使って紹介します。

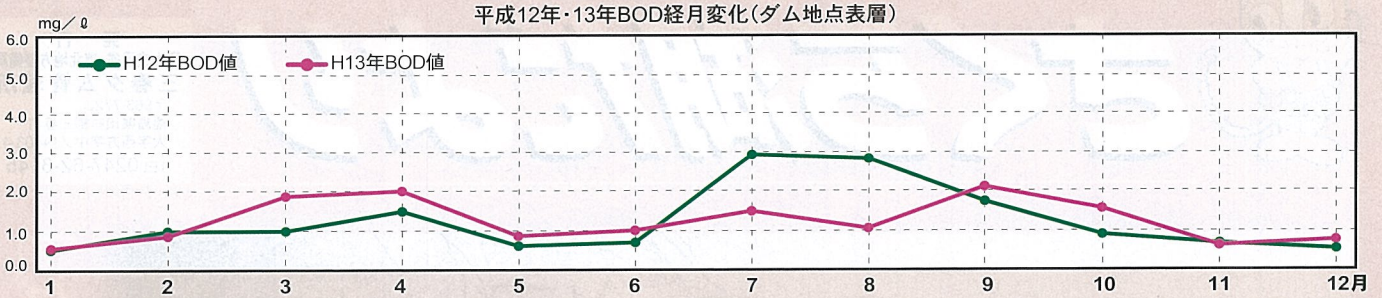
また、資料館では引き続き三春物産展を開催する予定です。



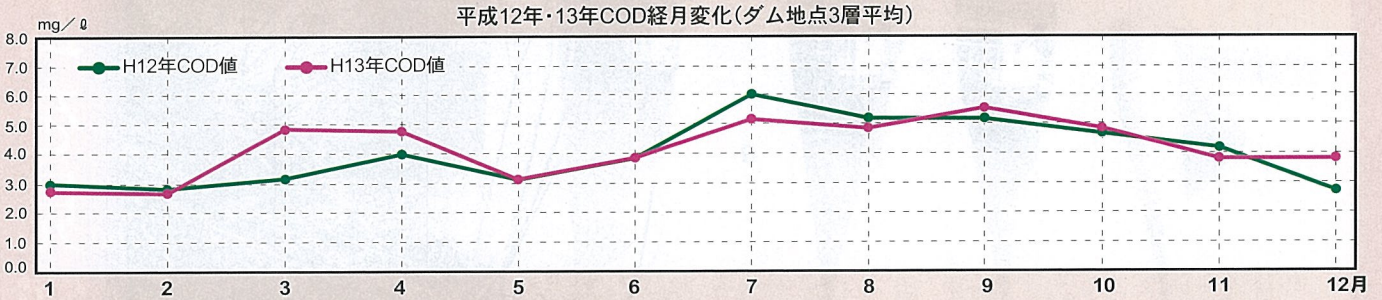
Julくん

カブトン

平成13年 さくら湖の水質の状況 (平成12年・13年の水質の変化を月別に表示し、比較したものです。)



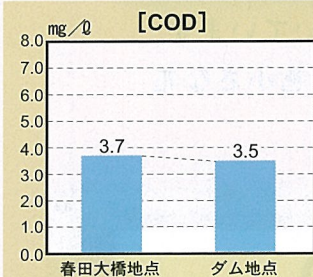
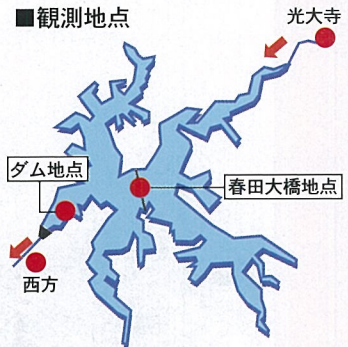
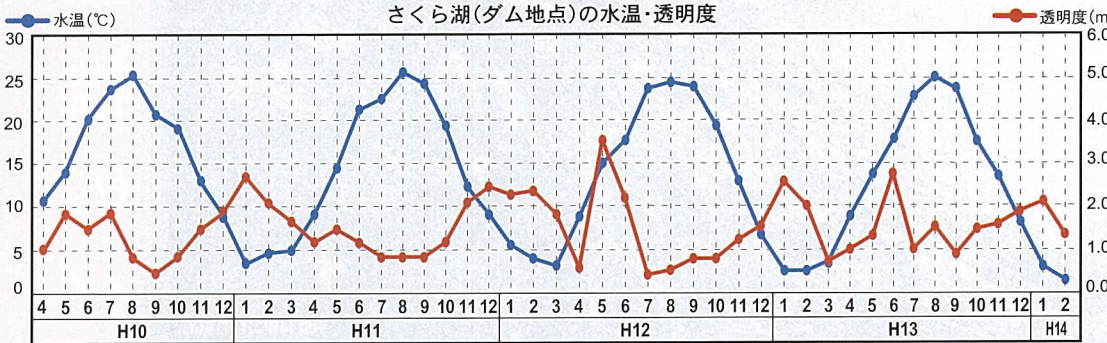
春及び夏に表層BODが高くなる理由としては、表層に繁殖する藻類の呼吸によるものと考えられます。これは、正の誤差として現れることから一般的に停滞性水域(湖等)の指標としては、CODが多く用いられています。平成13年は12年に比べ夏場のアオコ発生が少量であったことから、夏期のBOD値に差が出たものと思われる。



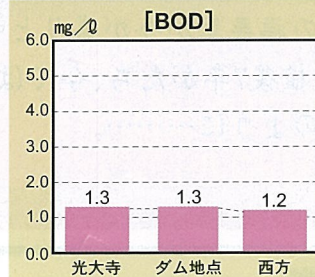
春及び夏にCODが高くなる理由としては、表層に繁殖する藻類影響と考えられますが、BODと異なり3層平均値であるため両年の差は小さくなっています。

水質の状況 (平成14年2月12日現在)

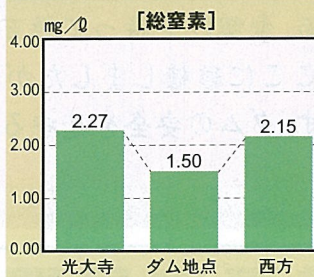
三春ダム管理所では、さくら湖や大滝根川の水質を定期的に観測しています。



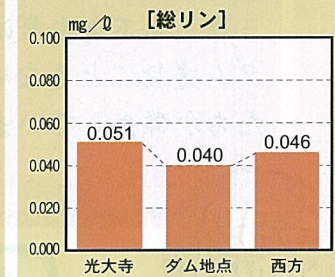
■COD(化学的酸素要求量)
コイ・フナ類が生息するためには5mg/l以下が適当とされています。
※全層平均値



■BOD(生物化学的酸素要求量)
大滝根川では2mg/l以下とされています。また、コイ・フナ類が生息するためには5mg/l以下が適当とされています。



■総窒素
一般に窒素が0.15mg/l以上であると富栄養化するとされています。



■総リン
一般にリンが0.02mg/l以上であると富栄養化するとされています。

三春ダムからのお知らせ

三春ダムでは、皆様のご意見や情報の提供をおまちしています。

郵便またはFAXで 〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
国土交通省 三春ダム管理所 FAX0247-62-3170

■インターネットでも、さくら湖だより・ダム概要を見ることができます。
ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>



お願い

ダム下流での釣り、水遊びなど河川利用される方は、気象情報には充分注意をお願いします。